

# 日本語部

## Japanese Language Ministry

---

シリーズタイトル: 自信を持つ

2022年6月11日・12日

今週のタイトル:

**いつになったらみんな嘆くのをやめるのか?**

ローマの信徒への手紙 8:18-25

レイ・ハームスウィーブ牧師

ニュースの見出しは人類の世界的なうめき声のようです。私たち人間の地上での生活は苦しみに満ちています。熱波、山火事、干ばつ、洪水、地震、ハリケーン、竜巻、火山の噴火など、私たちを取り巻く環境は様々です。私たちの壊れやすい体は、身体的な病気、精神的な病気、そしてゆっくりとした衰えに苦しみます。長く一生懸命働いても、小さな収穫しか得られないこともあります。私たちはしばしば、間違っただけを信じ、考え、感じ、行動してしまいます。私たちは、道徳的な失敗、緊張した人間関係、羞恥心に苦しみます。私たちの人間社会は、腐敗、不正、不平等、そして虚偽の話で満ちています。戦争、疫病、金融危機もあります。もうこれ以上耐えることができないと思えることもあるでしょう。

**ウィリントン教会は日曜日の対面式礼拝を再開します。**

礼拝時間:

午前 8 時 30 分、10 時、11 時 45 分

詳細は下記ページをご参照ください

<https://willingdon.org/willingdon-churchs-response-to-covid-19>

前回の礼拝: <https://willingdon.org/japanese>

このような人生の困難の下で、目の前の闘いを乗り越えることができるのでしょうか。時には、悪いニュースを次々と聞かされ、私たちの心がうめき声をあげることもあります。また、ある時は、このうめき声は怒りとなって爆発し、この時代の不公平に反旗を翻す激しいデモとなることもあります。私たちは、人生はもっと違うはずだと信じるからこそ、うめき声をあげ、ため息をつくのです。私たちが実際に経験することは、私たちが望んでいることよりはるかに劣っています。私たちは、これが人生のすべてなのかと問いかけます。

神の言葉は何を語っているのでしょうか。

- 私たちはうめきながらも、たぐいまれな栄光に向かって生きているのです！
- 被造物はうめきながらも、たぐいまれな栄光に向かって生きているのです。
- 私たちはうめいていますが、御霊の最初の実が始まりに過ぎないことを知っています。
- 私たちはうめいていますが、忍耐強く待ち望むことができますように！

### 考えてみましょう

- イエス様によって与えられた希望は、あなたが、あなた自身や周りの人々の人生における現実的な苦難に向き合うにあたり、どのような影響を与えますか？
- イエス様によって与えられた希望は、被造物の未来に対する見方をどのように変えますか？

### 週末及び週初の礼拝

教会のネット生中継に是非ご参加ください。

土曜日 午後 5 時 30 分

日曜日 午前 8 時 30 分、10 時、11 時 30 分

<https://willingdon.online.church>

### 教会からのお知らせ

申込先はこちらより：[http://eepurl.com/dC\\_JaL](http://eepurl.com/dC_JaL)

## ローマの信徒への手紙 8:18-25

18 現在の苦しみは、将来わたしたちに現されるはずの栄光に比べると、取るに足りないといわたしは思います。 19 被造物は、神の子たちの現れるのを切に待ち望んでいます。 20 被造物は虚無に服していますが、それは、自分の意志によるものではなく、服従させた方の意志によるものであり、同時に希望も持っています。 21 つまり、被造物も、いつか滅びへの隷属から解放されて、神の子供たちの栄光に輝く自由にあずかれるからです。 22 被造物がすべて今日まで、共にうめき、共に産みの苦しみを味わっていることを、わたしたちは知っています。 23 被造物だけでなく、“霊”の初穂をいただいているわたしたちも、神の子とされること、つまり、体の贖われることを、心の中でうめきながら待ち望んでいます。 24 わたしたちは、このような希望によって救われているのです。見えるものに対する希望は希望ではありません。現に見ているものをだれがなお望むでしょうか。 25 わたしたちは、目に見えないものを望んでいるなら、忍耐して待ち望むのです。